夕刊
磐城新聞
三月十日發行
定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金　普通五行十二字詰一行一回金六拾錢
發行所　磐城新聞社

超高速度の小說涉獵　十五

赤井嶽男輯錄

『生死流轉』

三遊亭圓橘演

（承前）

『あッ節穴から覗いちや困るなたくはおくは起きんかへ寢ればいいと思ふ時にや寢ねえで起す時には起きねえおくは……』

『あい何だね』

『宿の饅頭屋が來た』

『あう然うかえ今明けるよ!』

『へえどうも遲くなつて何ひまして相濟みませんがどうか一寸お明けなすつてお願ひ事があつて參りました!』

『はい今明けるよ』

眠い眼をこすりながらぼん妻が起き上つて來て締をあけて。

『階く遲くなつて來たんだね』

『へえ何うもお氣の毒樣で!』

『何だへ饅頭屋さん』

『エ、先の拜借の分もモウ一ッ二ッでスッカリ事濟みになりますので夫れが返らねえ內に飛んだ御無心を願でたのでございますが些と忙がしい身體で遠い草鞋をはかなけりやならないものでございます金をこしらへてやらなければなりませんが恐れ入りましたが何うか一つ二十兩拜借願ひたうございます』

『貴方二十兩貸してやつて下さいまし』

『へえ何でございます先のも一生懸命にやつて今月の內には必ず此方にいれる事に致しますから』

『あゝ言ふんで外の者とは逆つて饅頭屋の事だから貸してやんなさいまし』

『ちえつ好くこの男の肩を持ちやあがつて俺を袖にしやがる年が若くつて男が好し、こう一寸いなせな饅頭屋だが、たいおくはお前兎角贔負にして不可ねえぜ』

『さういふ譯ぢやねえけれどマア此方へ上つたがいい!』

『御免下さい』

と草履を脫いで上に上つたが、おう！はトロ／＼とした眼を開いて何が出來たのかと障子の破れから覗いて見ると自分の今の今迄逢ひたいと見たいと娘心の一と筋に江戶から追掛けて來ました戀慕はしい草三郎でございますから是は夢かと驚いて怪しいこんな山の中の寺若しや狐狸怪の所業かと尙も目を据えて見ますと忘れて何としやう片時も面影の離れぬ誠の草三郎ゆえ撻まり兼ねて障子をサラリ押しあけて。

『アラマア草三郎さんよくマア無事で居て下さいました……』

とバタ／＼と出て來ました。

『ア、誰だ、ヤツ珍らしい處で何うしてお前こんな處へ來なすつたのだ』

『あのお前さんが信州の親の處へ尋ねて行くと言つたきり便りがないから心配でく／＼堪まらない夫から後を追掛けて來たが旅馴れない中仙道勝手を知らないからどんなに困つたか知れやしない。この先の松並木で惡い儸籠舁きに欺され方角も知らない桑畑で已に弄ばれ樣とする處をこの寺の方丈樣が通り掛つて助けて下すつた今夜此方に厄介になつて居るとお前さんに巡り合ふやうな事になつた』

詩

春岡芳雄

眞黑にやけたほゝを
太陽に赤らめて
海にむかつて走つて行く
漁夫は
魂をしつかりとつかんで
ゐる
魚のにほひの發散する体
あゝ
今手をあげて叫んでゐる
太陽に呼びかける如く
彼等の魂は今興奮にひた
りきつてゐる。

今日は何の日

日　△軍記念日△奉天古領、我が河村黑木、野津奥乃木の五軍奉天附近に屢々會戰一週間以上の大激戰最も慘烈を極むる混戰であつたが竟に此日全く奉天を占領するに至つた、敵兵を斃ふこと二十萬捕虜三萬に上る、我軍も亦十萬以上の死傷あり有史以來の大激戰の一也、我陸軍の優秀强勇なる天下に轟く此日を以て陸軍記念日と定む（明治三八）△伊勢大廟成る（垂仁天皇二五年）△開港場にて踏繪の制を廢す（安政三）

拈華微笑

◇戰友の毅魄を祀る忠魂碑前果して感慨奈何、けふ陸軍記念日

◇上水道から下水へ。奔流の急テンポで市になりそうな大平町

◇不景氣で血を吐く思ひ。を實演で行つた男

◇一圓でもう一回と來なけりや落語にならぬ小便科料

◇春。春。春。けふの日和

○……○

講談　元祿女婿傳

小邑井小邑演

（宮野恒彥畫）

第十八席

彌『是れ、了賀夫婦は如何致した、木津屋の妻女はどうしたのだ是へ參れ』と高く呼んで立廻してあつた金屏風を手づから開く、扮てこそ大變と三人が逃げ腰―了『へ、エッ、夕只今…』彌『何と致した、これへ進め是れへ參れ』了『タッ、夕立つことが出來ませぬ、これで御勘辨を……』彌『イヤならぬ、速やかに進め、進まぬに於ては用捨ならんぞ』了『えッ進みます／＼』彌『二人の女も前へ出ろ』○『へへ二ッ……』顏色のあるものは一人もありません、其時彌左衞門は了賀に眼を呉れ彌『今晚の禮は心得ぬことである、貴樣は全體拙者に誰を媒酌致したのだ』「『へ、エッ恐れ入りました、本町三丁目小西屋の娘でございます』彌『それは分つてゐる、姉娘か、それとも妹娘か』了『申し譯もありません、姉娘のお房殿でございます』彌『ナニ、姉娘のお房……これ了賀、貴樣年取つて、おひぼれたな、拙者の望んだのは妹娘の

お喜知であるぞ、是れなるお喜知とは見合ひ迄も致したで無いか、夫れを途中貴樣の計らひをもつて、姉娘のお房に替えたであらう、不屆な奴は貴樣だ、折角緣邊が進んだのに、右樣のカラクリを致すから、姉娘のお房は氣を惡くし、果ては發狂して家出をしたと申す、實に取り返しのつかぬことをして氣の毒千萬、以來もあることだ、人と人との間に入つて、嫁婿の世話を致すには、モンット注意せんければならぬぞイヤ目出度い席で小言でもあるまい、木津屋の御內儀サ、色直しの盃を早く……』滿月了賀、目の玉の飛び出るほど小言を云はれたが、併しそれは花も實もある小言だつたから、ホット息、彌左衞門始めの氣色何處へやら、ニコ／＼しながら、色直しの盃事も濟み、無事お床入りとなつて、一同快よく退散……こちらは親類頭の大屋右衞門、三九度の盃が濟むと一同を催し立てはふ／＼の體で逃げ歸つたから、跡の始末は知らない小西屋へ歸つて來て、夫婦のものと顏を突き合はしてヒソ／＼話、とところへ夜ふけて木津屋小兵衞が戾つて來ました續いて滿月了賀夫婦も來て『案ずるより生むが易く先ヅ／＼納りは付いて上々尾…御夫婦の仲は至つて好く、笑ひ聲さへ障子の外にもれる程で、私は大安心が出來た、飲んだ酒もすつかりさめたから是から埋ツ返しに御馳走にならなくては……』六『ヤレ／＼それで妹娘で寺尾樣は御承知下すつたか』了『御承[illegible]も不承知もないが、變なことには手前はアベコベに大目玉を喰つた、一體妹娘の媒酌方を賴んだのに、途中で計つて、姉娘の世話をしようとしたから間違ひが出來たのだ見合ひも妹娘としたので、あねの方ぢやないと仰せがあつた、これが寺尾樣のお胸の分らぬところだけれど、マア無事納まつて好かつた』了賀はよいとしてゐるが、ふるえ家の大和屋源右衞門お『弱つた私はまだ胸がドキ／＼してゐる、アベコベなことを仰せが有る樣だと、今夜のところは納まつても、跡で混雜が起るに違ひない、商人同志なら話しも手ッ取早く出來るがお武家は恐しい何かあると直にピカ／＼したものを拔くからね、お喜知さんは何と云つてお詫をしたか知らないが、何れ此儘では濟みますまいせ、兎も角もお房さんを探し出して二陣に備へて置かなくては……』緣談の跡始末を合戰と心得て居ります、併しどうなり今晚のところは形が付いたのだから、跡のことは跡として、これより酒となつて其夜は明けました六左衞門夫婦は朝から指揮をして別段心當りはないがお房の行衞に就て番頭手代出入の者を集め、八方へ飛ばして詮議をさせます其日のひる頃フト氣の付いたのは鍋島樣の一條、念のため番頭を※車町へ飛ばした。

時代警句（逍遙）

○薄志弱行叉の名は『イクヂナシ』別名は『グウタラ』と云ふ。此の根性が增長したら到底人間にはなれぬ殆ど並の人間たゞの人にも成れぬ、學者でも才子でも善人でもこの惡魔に乘りうつられたら最後次第／＼に墮落する、鴆毒よりもこわい。バチルスよりも怖しい……。（通俗倫理談）

ラヂオ

……十一日（水曜）……

仙臺 JOHK

△七、〇〇　七、三〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象通報
△九、〇五　經濟市況
△九、一〇　ローカル　料理獻立（慈姑のキンカン揚げ）鈴木信子發表
△九、三〇　一〇、二〇A　經濟市況　日用品値段
△一〇、三〇　一一、〇〇A　家庭講座（中流住宅の改善は如何にすべきか）一　中村鎮
△一一、四〇A　經濟市況
△正午　時報
△後〇、〇五　〇、四〇A　三絃琴　一、四季の艶　二、初音の森　三、鶴の舞
△〇、四〇A　全國ニュース　氣象通報　告知事項
△一、〇　一、五〇A　經濟市況
△二、〇〇　二、三〇A　家庭大學講座（女性のための哲學）『第七講』日本大學教授松原寛
△二、三〇A　經濟市況
△三、四〇　氣象通報（積雪量）
△五、三〇　經濟市況
△五、四五　今晚の番組豫告
△六、〇〇　六、三〇　ローカル（子供の時間）童謠　幼稚園のうたと童謠　第一部齊唱と獨唱　太陽幼稚園々兒　第三部童謠齊唱　太陽保姆養成所生徒
△六、三〇　七、〇〇A　英語講座（初等科一九）岡倉由三郎
△七、〇〇A　全國ニュース（官廳ニュースを含む）ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項
△七、二五　八、〇〇　ローカル　講演（高松宮殿下の御盛德に就て）鈴木文治
△八、〇〇　八、三〇　ローカル　漫談『エロ』の『パーセント』立花賞
△八、三〇　九、〇〇L　琵琶（川中島）高野旭嵐
△九、〇〇　九、三八A　管絃樂　一、小さき舞踊曲　外二曲　日本放送交響樂團　指揮近衞秀麿
△九、四〇A　時報　全國ニュース　氣象通報　番組豫告　告知事項

◇三月十二日より抽籤〉

完決　怪盜夜叉王　市川右太衞門
旗本退屈男

曜	抽籤日	抽籤券いろは別	品目
木	十二日夜	い號全部	岡田時彥　二重トンビ他數點
金	十三日夜	ろ號全部	田中絹代　鏡台他數點
土	十四日夜	は號全部	鈴木傳明　自轉車他數點
日	十五日夜	に號全部	川崎弘子　コート他數點
月	十六日夜	ほ號全部	筑波雪子　長襦袢他數點
火	十七日夜	へ號全部	藤野秀夫　オーバー他數點

例へば『い號』抽籤券を御持になつても其れは『ろ號』の日に抽籤出來ません……。
抽籤當日に御都合上御入場なき御方は御知合の入場者に御賴みになつても結構です
寄贈品六日間の日割は抽籤の結果左の如くになりました。
抽籤券御持の方は御忘れなく其の當夜に御來館下さい……（入場なき方は無效です）

蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇
若者よなぜ泣くか
原作……佐藤紅綠先生……（後篇十卷）
主演　鈴木傳明、岡田時彥、田中絹代、藤野秀夫……

平館　料金普通

ラヂウム溫灸器
胃腸病の必治法
二貫や三貫らく／＼肥る世界的健康法
『溫灸治療法』百二十頁の美本無代進呈
特約治療販賣部
福島縣平町五丁目二八　志賀齒科醫院
福島縣平町白銀町九一　産婆　關口悅子

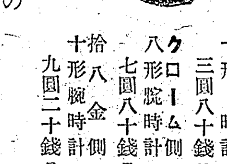
生徒募集
一、本科　高等科卒業程度ノ男女
一、普通科　尋常科卒業程度以上ノ男
一、新設農蠶科　高等科卒業程度ノ男女
（入學資格）
一、右各科共ニ入學試驗ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始　四月六日
一、詳細ハ規則書請求ノコト
昭和六年三月　平町六間門二十番地
磐城佑賢學舍（電話九三）

夜間診療
胃腸　梅毒
內科　十二指腸虫病　專門　內科部
淋病　皮膚病　婦人病　專門　外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

第卅三回　産婆看護婦生徒募集
一、卒業年限　兩科ヲ通ジテ一ヶ年
一、入學資格　高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者ヘ無試驗入學ヲ許ス
一、申込期間　四月八日迄
平町一丁目（電話三五七番）
石城産婆看護婦學校
校長　鷹崎千代

移轉披露
弊店儀毎々多大の御引立を蒙り以御蔭樣年增繁榮に相赴き今般業務擴張と機械整備の爲め左記へ一月十五日より移轉營業仕候就而は一層製作迅速を旨とし相勤め可申候に付舊に倍し御用被仰付度尙新製品豐富に取揃有之候間何卒御來駕御高覽被成下度奉待上候
先は移轉御通知旁々御願迄斯の如くに御座候
（弟子五名入用）
平町大町（新舊七丁目四八　磐城共濟病院前）
各種挽物　丸盆類　木製教育玩具、木馬　スケート類　製造卸
佐藤挽物製作所
主、佐藤誠孝

市原醫院
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
皮膚病、梅毒、淋疾　市原三三男
平町田町本通
（入院隨意）電話一一四番

時計の御用命は

皆樣の常盤屋時計店
平町一丁目電話三三九番
大特賣品
クローム側十形一時計　三圓八十錢ヨリ
クローム側八形腕時計　七圓八十錢ヨリ
拾八金側十形腕時計　九圓二十錢ヨリ

耳鼻咽喉科專門
平町田町七一
合津醫院
（入院應需）電話五五九

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシーへ
三（サ）四（シ）三（ミ）番

市制實施の前提たる 平町の下水計劃
工事廿五萬圓七年度に計上か 調査研究着々進行中

はち切れそうな活力を內に漲え快い行進曲を奏しつゝ一路膨張への道程を辿りつゝある平町では町空前の大事業たる上下水の施設を完成し問然する處無き都市の形態を備へた上先年來頓に機運の熟し切つた懸案の市制實施に進むべく夫々考慮をめぐらしつゝ今日に至つたが新興の平町民將來の生存上まさに大動脈の立場に在る吃緊の上水道施設は今日既に大半の工程を了し六年度を以つて愈々その完成を見る迄に漕ぎつけた、殘る下水問題に就ては之亦二十五萬の巨費ものかは此際町としてはどうでも造り上げねばならぬと云ふ意氣込みの下に昨年中まる一ヶ年を費して之れが設計に專念し目下設計圖の修正中であるが之れが終ーと共に之れを七年度の豫算に計上せんとする計劃は着々として進めらるゝものと觀測される、而して前記二十五萬の豫算に對する財源は十萬圓を國縣の補助に仰ぎ更に同額を起債に俟ち殘り五萬圓を町費の繰り入れと町民の寄附によらんとするもので之れが決定の上は先づ役場わきより本社前を西村藥店横へ大通を横斷して谷口前より南町を横斷新川に至る工費一萬五千圓の雨水道を眞つ先に漸次全町の雨水道汚水道に及ぶ事にプランはちやあんと立つてゐるとの事でこれが完成の曉は上下水完備の點に於てまさに東北第一の新進都市となるわけであると

日露の役を追懷して 血沸き肉躍る實戰談
けふの陸軍記念日に 沼田少佐磐中で講演

平町の陸軍記念日は在鄉軍人分會によつて行はれたる忠魂碑參拜總會及講演會の開催等大体既報の如くであるが當日磐中では午前中一時間授業後九時半から內鄉村の在鄉軍人沼田騎兵少佐の三十七八年戰役の實戰談あり正午近く迄全校生徒に對し終始血沸き肉躍るの感動を與へた

鹿島忠魂祭

鹿島村の忠魂祭は今十日午前十時から同村忠魂碑前で盛大に執行したが更に夜間は余興として野外活動寫眞を上映公開すると

平商卒業式
來十二日擧行

平商業學校第十一回卒業式は十二日午前九時から擧行さるゝが卒業生は左記八十四名で內進學三十五名就學希望者二十名自家營業及自己就業二十九名である（イロハ順◎印優等生○印無欠席）

石川正衛、○伊東傳太郎、西郡熊夫、○新妻利勝、新谷秀太郎、星野嘉久治、外村武夫、富森健一、◎○渡邊茂、渡邊好雄、渡邊昇、渡邊清、渡邊三千雄、若松政一、笠原三男、○片寄武、片寄一二、金賀文彥、○叶多芳衛、賀澤政江、吉野義美、吉成一、◎武田昇、武田善之助、○高橋正司、高秋仁平、高橋清之助、○高崎義高、田山房一、蘭部萬年、根本正弘、根本勝美、根本寅男、長瀬修造、○名畑富能、○永山忠男、○永井滿雄、村山政一、○村田清作、○內藏武雄、上田滿、宇佐美武之、大井川宗平、大津賀清吉、小澤政二、小野廣、小谷誠、大木茂、○小貫武志、岡部保之、隅川幸夫、○栗原好雄、○松本菊郎、○馬目信茂、馬目晴夫、○小齊榮祐、小松一元、○遠藤喜平、○遠藤明、○遠藤保、○赤津喜一、○齊藤喜三郎、佐々木正直、○佐野榮治、佐藤正平、佐藤文吾、酒井三男、北林太一、木田繁雄、三森之助、○緑川莊吉、白土七勇、鴫田鷹四郎、○鴫原哉、○人見四郎、森田正光、諸橋嘉一、◎○鈴木正好、鈴木忠雄、○鈴木健太郎、鈴木通雄、須藤德次郎

赤井村民擧つて 田久氏の篤行を讃美
一德會の表彰に對し 廿一日祝賀式擧行

京都財團法人一德會では教育勅語煥發十四周年記念に際し全國の孝子節婦發明家篤行家を表彰す可く過般本縣にも調査方の依賴があつたので其筋では多年に亘り私財を投じて赤井、永戸兩村に跨る永井道路改修及其他の公益事業に盡瘁せる赤井村田久氏を之に該當せる篤行者として推薦したに對し此程左記表彰狀及記念品（神のみこゑ及彰善綠各一部）が縣經由赤井村役場に到着したので赤井村では之れを一村の名譽として村長校長、村會議員等發起の下に二十一日同村第二尋常高等小學校に於て傳達式と盛大なる祝賀式を擧行する筈であると

表彰狀

多年一日の如く專ら力を公益事業に盡され功績顯著なるものあり其志行奇特にして洵に衆人の模範となすに足れり依て玆に教育勅語煥發四十周年を期とし別紙目錄の通り贈呈し之を表彰す、尙將來一層の御努力を望む

昭和五年十月三十日一德會長從二位勳三等功四級子爵高倉永則、田久彌七殿

尙ほ同氏は村長の推薦により雜誌キング紙上にその篤行を掲載され記念品として同社から銀盃一個を贈られたと

入學試驗禮讃

投稿 寄書歡迎

◇春深うして世は受驗の時期に入る、磐中の——高女の——入學試驗！何といふ響のいゝ言葉なんだ。何ぞ我耳に快き、おれはその言葉を聞いてさいうずうずする

◇下は小學校の兒童より上は大學の紳士に至るまでやれ入學試驗、やれ卒業試驗。人生ではないか、生活ではないか

◇人生は虛僞と權謀と、卑劣と意地つ張りの舞踊場だ、すべからく生活は不正直なるべし、策略あるべし、厚顏にして無恥なるべし、かくして君は立志傳中の人となる

◇心には何を思ふとも、表面だけは君子たるべきなり。利を見てはしがみつくとも不利を見ては身をひるがへさゞるべからず、正直すぎて向つ腹を立てる樣な男は必ず失敗するにきまつてる

◇試驗は小さな人生だ、生活人の第一門だ、いかなる坊ちやまも、おひい樣もこゝでは『現實』の洗禮をまぬがれない

◇試驗場は不正直の展覽會だ。陰謀の練習所だ、ずるくて、かけひきのある小才子のみが成功する

◇昔、スパルタの教育ではド・棒と、喧嘩とを訓練の第一要目としたそうだが却々味なことをやつたもんだ、頭がいゝわさひいたくなる

◇小さな受驗生諸君家庭教師の入れちゑでもかまはぬ知らない事でも知つた樣な顏をし給へ、それまでして落第したら、三度も五度も出なほす事だ、なあに、かまふもんか

◇ローマを得んとする者は先づルビコンをわたる事を要す、滿天下の若きシーザー達よ、進めローマの腐敗は卿等の問ふところでないのであるんである

◇春深うして世は試驗の時期に入る、人生祝福、試驗禮讃、天下の如何に大平なる事よ！

（湯本SY生）

藤原局移轉
此程認可さる

藤原郵便局は三井炭礦廢坑以來大字下湯長谷地內或は藤原字大畑地內縣道に面したる場所の何れかへ移轉して依然存續すべくその筋に運動中の處最近前記大畑（同村小學校門向）に移轉認可されたので速に着工したが今月中には工事落成の見込みであると

茂天木神社
近く家根替に起工 改修さるる

內鄉村御厩字下能小社 天木神社は最近屋根が著しく破損したので工費八百圓を以て修理する事となつた同社は八幡太郎義家陣營の跡として古い由緒を有してゐる

壇の浦から

三月の春光に舟を泛べて壇の浦に遊ぶ、歷史は吾を昔に誘ひて床しくも鐵漿黑々と薄化粧、日本武士の花と散りし平家の公達を偲ばしむ、今ぞ知る御裳川の流れには浪の底にも都ありとは、鳥兎匆々五百年、今も猶ほ海は底の都探ねてさまよへるか——海の極みまで

七日　遠藤俊一郎

四邊を血で彩つた 若い男の死因？
出張檢視の結果 痼疾の亢進と判明

內鄉村綴秋山四二生れ同村高坂御殿磐城炭礦長屋居住坑夫瀨戸直吉（三八）は九日午後九時頃自宅裏水道端に於いて咯血をなし死亡してゐるのを家人が發見平署に急報したので係官が出張檢視を遂げたが同人は長年肺病を患ひ最近重態に陷つたものであると

大敷漁業 投網準備
漁夫近く來濱

小名濱豐間の大敷網漁夫は目下何れも歸鄉休養中であるが追々各濱の漁獲期も迫りつゝあるので近日中來濱投網の準備に着手する筈であると

金儲け內しよ話 —(24)—
絶對に四の五の云へた義理ぢやない 九層倍に誣いらるる賣藥屋 上

坊さんをさきに書いて藥の話ではチト順序でないがけふは其の方面を一席。

◇

『病は氣のもの』と云つてアイヌなんざア何處が惡からうと、齒磨粉を服せればケロリと治る。そんな馬鹿な話があるもんか、と頭からけなしつける所謂文化人の諸君の中にも、やれお守りだ、それおまじなひだ——とまでは行かなくとも『博士』と云ふ聲だけで忽ち病氣の治る連中があるんだから、アイヌの齒磨粉療法も笑へた義理ちやあるまい

◇

それも臨床や解剖でなつた博士でなく、まるで病氣とは緣のないやうな、バイキンを染めたり、蛙の心臟をとめたり動かしたり、更に甚だしいのになると、鼠の小便や虱の生殖器で博士になつた先生も少くないのだ。——そんな鹽梅で藥の方はどうしても俺達でなければと云つたわけかどうかは知らぬがお醫者さんの藥價が動もすれば高過ぎる場合があると云つて奮起した藥劑師諸君が、醫藥分業と吹き立てて議會に火花を散らす運動をやつたものだ、この法案が問題になつた時には醫者と藥劑師は、業務をぶんなげて東京にかけつけ、ガア〳〵怒鳴り合ひ、殿り合ひをしたもんだ。今では大人しやかに控えてるが、時を見てまたコイツがもち上がつて來るに違ひあるまい。

◇

た醫師さんをとやかく云ふ藥屋さんの算盤具合はどんなかと云ふに普通の賣藥が定價の六掛で卸され、中には半額位で卸される藥も少くない。と云ふそれを服まねば癒らぬのであるから四の五の云へた義理では無いが時節柄風邪藥を例にとつて一つ內わけをお目にかける。この場合一寸御參考迄に並べると少しく古い統計ではあるが石城郡內に於けるその方面の關係者は藥劑師十五名、藥種商三十八名と云ふ事になつてゐる、今日では若干多くなつてゐる事だらう。

作山氏の 通俗講演會
十三日湯本校で

湯本町教育部會長小泉三代喜氏主催で十三日午前一時から同町小學校に於て通俗講演會を開催するが講師は縣教育新聞社主幹作山美八氏である

宮に火の見
愈々建設決定

內鄉村宮火防組では從來火の見櫓の設備がなかつたのでこれが建設方に就き寄々協議中の處最近愈々工費三百圓を以て鐵骨火の見を建設する事になり寄附募集を開始したと

何、小便の科料だつて ソーレ現金で即納だ
如何にも春の夜に相應しい 酒のウルトラ、ナンセンス

平町四丁目マルトモビル傍停車場通の街路で今十日午前零時半頃悠々と放尿中の醉漢あるので巡廻中の平署員が誰何すると五十錢銀貨一枚を取出し『科料は現金だ』と豪語するので署に連行取調べると右は小名濱町下横町三四酒屋山本榮太郎（三六）で大目玉を頂戴して引き下つたと

小川村道改修

上小川村地內、內倉より大字横川同根本部落を經て同村北の內縣道に通ずる村道約二里の改修は一昨八日以來青年團總出動今十日竣工した

武德殿へ補助
內鄉村會で可決

內鄉村武德殿は去月二十六日の村會に於て村有に編入したがその維持費補助として年額百二十圓を武德會に仰ぐ事に昨九日の村會で決定した

アジアの嵐
平舘の人氣沸騰

ソヴェート、ロシア映畫界の[illegible]オブドフキンが監督せる名映畫『アジアの嵐』はさ

四倉通信

四倉荒しの 横着な鮮人
岩沼署に捕はる

當時住所不定朝鮮全羅南道生れ林相淑（三四）は去月十二日午前十時頃四倉町字新町十三番地飲食店鈴木フク方に於て一圓五十錢分の只飲みをした外同二十四日午前十時頃同仲町一四三雜貨店大越千太郎所有の自轉車一臺（價額五十圓餘）を竊取逃走中この程宮城縣岩沼署の手に逮捕せられ四倉署より書類檢事局送りとなる

弄花二た組
何れも書類送檢

四倉町字仲町鈴木秀松、諸橋德藏等三名は去る六日午後二時同町一七五諸橋德二郎宅に於て賭博開帳中四倉署永山佐藤兩巡査に踏込まれ又同町仲町一二七佐々木多三郎同鈴木松太郎の二名は去る七日午前十時頃同町硯川一一一鈴木清二郎宅に於て同樣賭博開帳中之亦四倉署員に捕へられ取調の上何れもこの程送檢

明日の吉凶

舊曆一月廿三日　新曆三月十一日

▲一白の人　躊躇すれば好機は失はる諸事進んで効あり▲二黑の人　小事と雖も蔑にすれば後日に悔をのこすべし▲三碧の人　萬事手違ひの生ぜんとする日思慮分別大切▲四綠の人　進むに過ぎざれば相應の利得ありて繁昌す▲五黃の人　緊張して事にあたれば安全氣ゆるみは不利起る▲六白の人　思惑は意外の失策を招く定業を守るに安全▲七赤の人　望みのみ大にして實績の伴はざる日進むは凶▲八白の人　着實熱心なれば福祿をにぎること間もあらず▲九紫の人　隆盛この上なく諸事順調にして大利を收む

平町人事

△出生　大工町一七石工丹野岩松六女きみ子　鷹匠町九上遠野村根岸横道一〇四鐵道員蛭田千代松二男忠司　新田町二八茨城縣多賀郡關南村大字關本下八四二農松本徹壽二男好央　立町三菓子製造業武藤喜悅長女悅子　四丁目五教員松崎吉太郎長男竹志

△婚姻　禰宜町七煉瓦職和久本初五郎長女呂子　岩手縣上閉伊郡釜石町大字釜石第六割二佐藤ヤヲヨ（三九）長橋町一八齋藤惣次郎（三三）

吉田眼科病院　平町紺屋町

春衣新柄御案內
最も新らしき柄の 銘仙とモスリン着尺
優秀特選 春の帶側
いづれも新品豐富に取揃へました 是非御覽下さい
三井呉服店

特賣!!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等受領
花春　同優等賞受領
醬油釀元造
鹽屋 山崎合名會社（電話一〇番）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
（久）釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

內臓外科　外科一般　花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四三六番）
安齋外科醫院
看護婦募集

貸切の御用命は？
獅子吼（シシク）（四四九）の勢（イキホイ）で
眞先（マツサキ）に（マツサキ）
三九二（ミクニ）タクシーへ

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの